

『生涯発達心理学研究』執筆要項

(論文の長さ)

1. 原著論文の長さは、原則、本誌刷り上がり10ページ以内とする(論文題・日本語要約・本文・文献・資料・脚注・表・図・英語要約・付記などすべてを含む)。本誌1ページは、1200字原稿2枚分に相当する。
2. 投稿論文には、日本語および英文の要約とキー・ワードをつける。
3. 日本語要約は400~600字、英文要約は100~175語とする。英文要約の場合には、ダブルスペースで印字する。要約では、タイトルはつけ、著者名は省く。
4. キー・ワードは5つ以内とする。

(原稿の作成方法と書式)

1. 投稿原稿は、発達心理学会作成の「論文原稿作成のための手引き」の最新版にしたがって、ワープロで作成する。
2. 用紙の大きさはA4判縦置きとし、1ページは1200字(40字×30行)、横書きとし、次の順で並べて、一つのファイル(以下「論文ファイル」とする)にまとめる。
 - (1) 論文題(日本語・英語): 通しページ番号はつけない。1ページ分を使用する。副題をつける際は主題との間に「:」を用いる。
 - (2) 日本語要約: 通しページ番号はつけない。1ページ分を使用する。
 - (3) 本文: 改ページをして、通しページ番号は第1ページから。
 - (4) 文献: 改ページをして、通しページ番号は本文に続ける。
 - (5) 資料: 改ページをして、通しページ番号は文献に続ける。
 - (6) 脚注: 通しページ番号はつけない。必要ペー

ジにまとめて書く。

- (7) 表(Table): 通しページ番号はつけない。1ページに1個ずつ書く。
- (8) 図(Figure): 通しページ番号はつけない。1ページに1個ずつ書く。
- (9) 英語要約: 通しページ番号はつけない。1ページ分を使用する。
- (10) 付記: 通しページ番号はつけない。必要ページにまとめて書く。

(諸注意)

1. 原稿は作成に際しては、特に次の諸点に注意する。
2. 引用文献は論文の最後に、「文献」として、著者名のアルファベット順に一括して挙げる。
3. 脚注は通し番号をつけ、別紙に記載する。本文中にはそれに対応する番号を付す。
4. 付記は別紙に記載する。
5. 投稿論文は常用漢字、現代かなづかいを用い、簡潔明瞭に記述する。英文は熟達した人によるか、その校閲を経ている。
6. カタカナは、外国人名ならびに原則として日本語化した外国語を記述する時にのみ用いる。
7. 本文中の外国語の使用はできるだけ避け、外国人名、適切な日本語訳のない術語、書物やテスト名などにのみ用いる。
8. 数字は、原則として算用数字を用いる。
9. 略語は一般に用いられているものに限る。ただし、必要な場合には、初出の時に、その旨を明記する。
10. 表と図は必要最小限とし、重複は避ける。表と図は別紙に書き、Table 1, Figure 1のように通し番号をつける。
11. 表の題はその上部に、図の題は下部に書く。写真は、図に含まれる。説明文はいずれも下部に記

す。表、図、写真などの題、説明文、図表中の文字は英文にしてもよい。

12. 図は刷り上がりが頁の半幅または全幅に収まる大きさとし、縦横がそれぞれ約2倍になるように、黒インク等で明瞭に描く。
13. 表、図は本文に比べ大きな紙面を要する。本誌1頁大のものは、1200字詰原稿用紙2枚に相当する。その割合で換算し、所定の枚数を超えないように注意する。
14. 本文に、表、図の挿入箇所を指定する。

(その他)

1. 校正は、初校を著者が、再校以降は生涯発達研究教育センターが行なう。
2. 著者には希望に応じて30部を上限として抜き刷りを贈呈する。
3. 本誌に投稿された論文の原稿は返却しない。

(問合せ先)

不明な点については、生涯発達研究教育センターに問い合わせる。

住所：〒182-8525 調布市緑ヶ丘 1-25
白百合女子大学 生涯発達研究教育センター
事務室 担当者宛
E-mail : khoriguchi@shirayuri.ac.jp